

# 再 評 価 対 象 事 業

浸水対策下水道事業  
中心市街地西部地区  
(大規模雨水処理施設整備事業)

高松市 下水道整備課

# ◇1 中心市街地浸水対策計画

## 中心市街地浸水対策計画図





# ◇2 事業内容・計画平面図

## 事業内容

浸水対策下水道事業 中心市街地西部地区  
(大規模雨水処理施設整備事業)

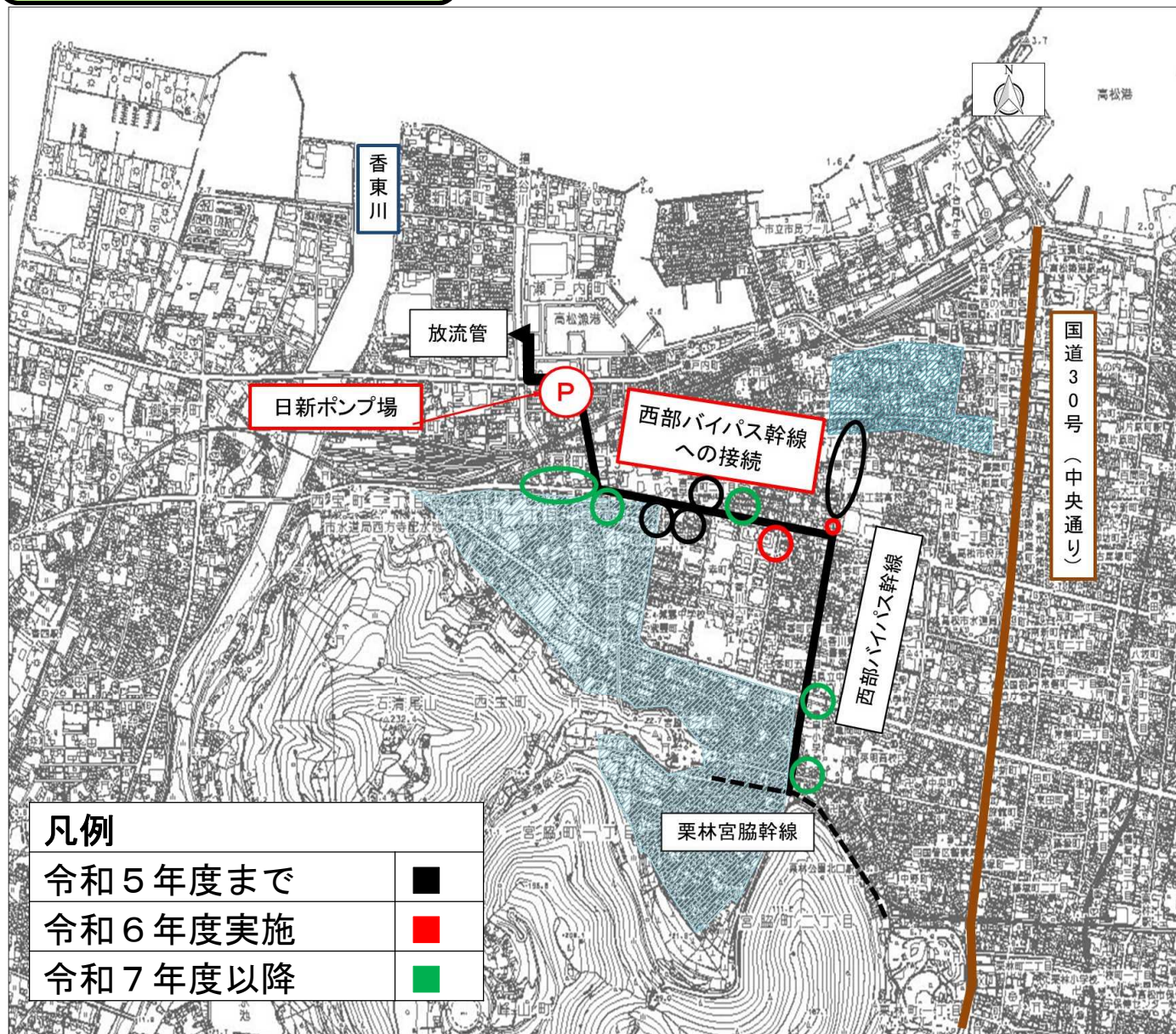
▶事業着手年度  
令和2年度

▶事業箇所  
高松市(中心市街地西部地区)

▶事業費  
10,812百万円

▶実施内容  
雨水ポンプ場 計画放流量 12.0m<sup>3</sup>/s  
放流きょ φ2,800mm L=247m  
幹線接続 φ250~1,100mm L=776m

## 計画平面図



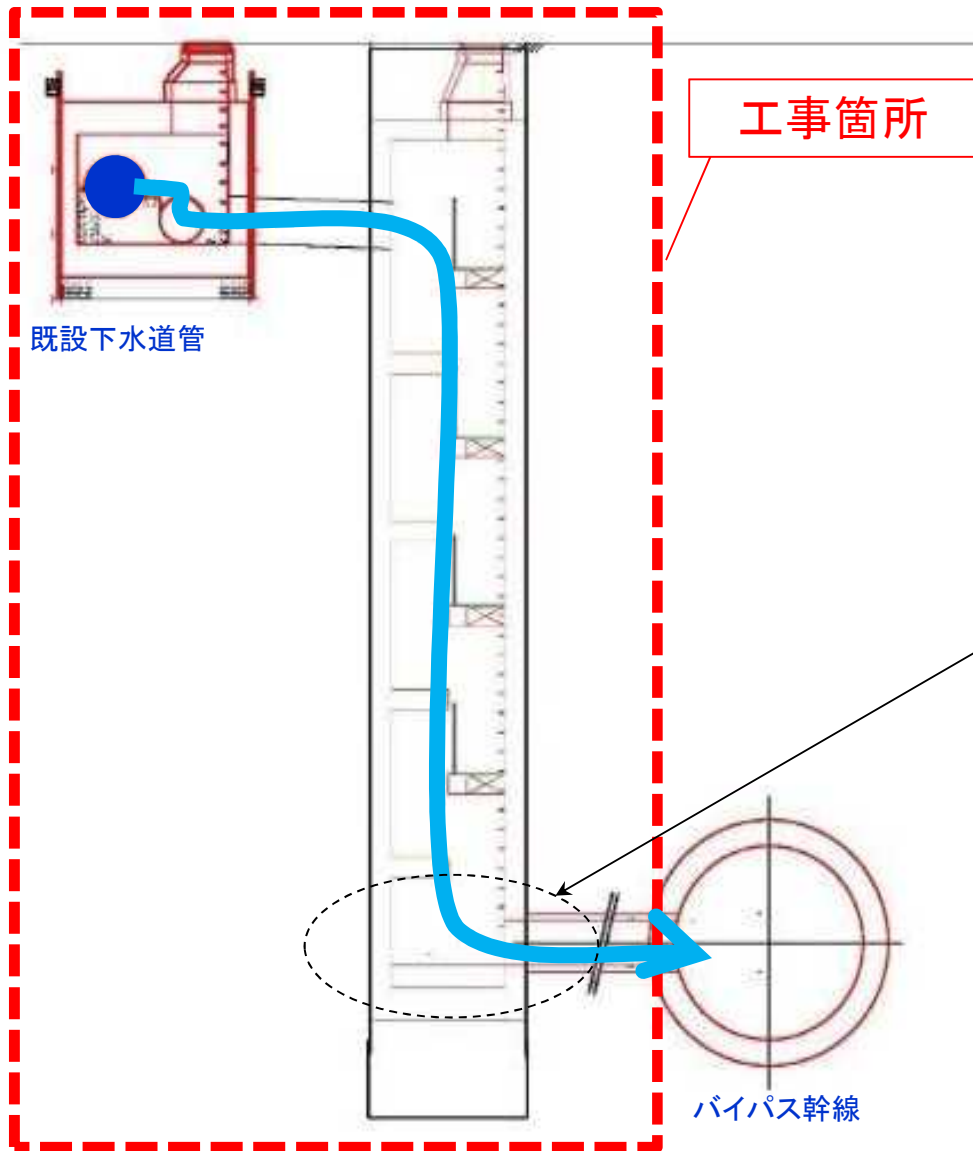
高松市都市計画基本図(高松市作成)を加工して作成





# ◇3 工事進捗状況

## 幹線接続工事



標準構造図



施工状況写真

## ◇4 再評価の視点及び対応方針(案)

### ①事業の必要性等に関する視点

#### 1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 近年の自然災害の激甚化・頻発化に対して住民の防災意識の高まりから、早急な浸水対策が求められている。
- 平成16年台風23号をはじめ、これまでに、浸水被害が発生していることから、早期の対応が必要である。

#### 2)事業の投資効果

- 費用便益比(B/C):3.9

便益(B):62,254百万円

直接被害:家屋、事務所、自動車、公共土木施設等

間接被害:営業停止被害、応急対策費用等

費用(C):15,828百万円 (費用には、建設費、改築費、維持管理費を含む)

#### 3)事業の進捗状況

- 総事業費10,812百万円に対し、事業費ベースで約17%  
(R5年度までの計画は約22%)

※参考

計画事業費

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
雨水管渠	80	110	300	75	90	100	40	60	60	0	0	915
雨水ポンプ場	319	767	244	500	500	500	500	500	4,307	880	880	9,897
計	399	877	544	575	590	600	540	560	4,367	880	880	10,812

雨水ポンプ場の整備にあたり、地面から下側の土木工事と地上部の建築工事を一括して発注することにより、工期の短縮を図っていると同時に、一連の工事の中で、工程の見直し等に努める。

## ◇4 再評価の視点及び対応方針(案)

### ②事業進捗の見込みに関する視点

- 幹線接続工事、雨水ポンプ場建設工事は計画年次に順次着手済み。
- 今年度に整備する排水ポンプを稼働することにより、浸水被害の軽減を図る。
- 今後も適切な工程管理を行い、早期完成を目指し事業を推進する。

### ③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- ポンプ場建設工事において、発生土を流用 ⇒ 土材料費と残土処分費を低減
- 基礎材等に、再生材を使用 ⇒ 材料費を低減
- 維持管理費等を考慮し、ポンプの口径・台数を検討

### <対応方針(案)>

⇒以上のことから、事業を継続する。